平成

(土石流被害による評価)									(区分)	国補
事業名	復旧治山事業(通常)	事業箇所	大月市	笹子町	白野	地区名	柏木沢(かしわぎさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要					(3)事業の妥当	性評価			妥当	妥当でない
①課題•背景					①公共関与の	妥当性(行政	なが行うべき事業か)		0	
本箇所は、大月市笹子町白野地区を流れる一級河川大鹿川上流の荒廃渓流である。近年の集中豪雨の影響で渓岸				・森林法第41组	条第1項に規	見定された「保安施設	事業」に該当			
浸食が拡大したことにより、渓流内に不安定土砂が堆積し、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出対策 を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。					②事業執行主任	体の妥当性	(県が行うべきか)		0	
					・森林法第419	条第3項の規	見定により都道府県気	印事が整備		
②整備目標•効果					③経済妥当性				0	
	〇土石流災害の防止	11%<70% ※ 欠緊急輸送道路 国道20号)		鉄道240m 林道	費用便益比	: 便益(B)/	/費用(C)=	2.53 > 1.0		
	保全対象 人家9戸 国道130m 高記		市町村道200m		•便益(B)=	291	百万円	•費用(C)=	115	百万円
	20m 土砂整備率 (現況)1		. *	④事業実施·規	見模の妥当性	Ė		0		
	災害実績 無 ※ 重要公共施設 有(第1次			・流域内は不安なお、砂防ダ	で定土砂が増 ムの計画は	ŧ積しており、下流へ ない。	流出する恐れがある。			
	(第1次	緊急輸送道路	中央自動車:	≦)	⑤整備手法の	有効性			0	
		(※ 評価基準値)	·保安林機能の	回復を図る	こよる整備が有効					
□副次目標□副次効果					⑥環境負荷への	の配慮			0	
	-				・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する					
					⑦事業計画の第	熟度			0	
					・地元大月市よ	り強い要望	あり			
	○被災時の被害波及の防止(第1次緊急輸送道路 国道20号) (第1次緊急輸送道路 中央自動車道)				<妥当性評価:	>				
					・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断					
					(4)事業間優先度評価					
					- 貢献度ランク:	: a	副次効果ランク	1 優先度評価:	SI	
(2)整備内容と整備量					(5)総合評価				0	
①整備内容	谷止工3基				- · (3)及び(4)の結果から「最優先」に実施					
②整備期間	平成31年度~平成33年度				(3)及ひ(4)(刀桁朱から 「	取馊尤」(- 美.他			
③総事業費	120百万円(国費 55百万円(1/2) 県費	65百万円(1	/2))		【事業位置	図筆]	and the second	RELIGION		N
④全体計画						1/100		事業対象地	700	
	平成31年度 谷止工1基 40百万円 平成32年度 谷止工1基 40百万円 平成33年度 谷止工1基 40百万円									
								A second	5,57	*
					中央自動車道					
⑤既整備内容·期間·事業費	平成3年 谷止工1基 22百万円				(世子トンネル 年子 18 年 18 年 18 日 18 日 18 日 18 日 18 日 18 日					